

「授業備品」N025 H. 28. 11. 7 「通常の学級における発達障害のある児童・生徒への学習支援（6県に配布中）」

教師の多弁な授業。そうした授業をする教師は、「学力学習状況調査」では結果が出せなかった。生徒は、教師からすべて教わるより仲間で学習したい、仲間同士で学びたいという思いがある。解決の柱となるのが「授業のユニバーサルデザイン」だ。全教師の板書が同じ、ノートを使い方が同じ、指導案が同じ、子供助かると思う。

1 授業についていけない子や発達障害の子に対応していたか

学校訪問をした時、廊下を歩いてだけで授業が分かる。教師が一人で喋りまくる中で、授業についていけない子、じっと耐えている子、発達障害の子はどうしているのだろう。発達障害教育を推進する前に、自らの授業の課題を受け止めるとよい。教師自身が変わらなくてはならないことが見える。

2 法の改正

平成 24 年 7 月中央教育審議会初等中等教育分科会で「共生社会に向けたインクルーシブ教育システム構築」、平成 28 年 4 月「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行がされる等、法的な動きが続いている。この 4 月からは特に学校において発達障害教育の充実を図ることが求められている。

3 授業展開の方法が分からない教師

平成 25 年度に東京都教育委員会が実施した教師の意識調査によると、小学校 54.9%、中学校 60.2%の教師が、「発達障害に関する知識はあるが具体的にどう対応すればよいか分からない」、「発達障害の知識がなく対処できていない」と回答している。通常の学級における発達障害のある児童・生徒に関する正しい理解に基づく指導・支援の充実が急務となっているばかりか、教科に特化した自己流の授業を変えないと課題解決は図れない。

4 従来型の学習で伸びきれなかった子を伸ばす

従来の知識習得学習は個人学習が主だが、中央教育審議会で議論されたユニバーサルデザインの授業は、対話的な学びが中心だ。子供たちは仲間で学ぶため、必然的に授業に参加するようになる。従来型の学習で伸びなかった子がペア学習、班学習、全体学習等で学びやすくなる。教師とは違う同じ仲間の目線で説明を聞くことになるので学習が分かりやすくなる。学習が分かっている子にとっては、相手に教えることで自分の考えを整理できる。ユニバーサルデザインの授業は、どの子にもチャンスを与える学びである。

5 発達障害の子を意識した授業づくり

- (1)座席の工夫 配慮の必要な子供が集中しやすい場所や支援が届きやすい場所とする。
- (2)課題とゴールイメージの明確化 ねらいを分かる言葉で提示し、ゴールイメージをもたせる。
- (3)学び合い工夫 ペア学習（全員発表のため）、グループ学習（全員で役割をもつ）を必ず行う。
- (4)学習の流れ（シラバス）の提示 時間のマネジメントを行う。
- (5)学習の流れの構造化 問題解決的な学習活動を行う。
- (6)個別指導の配慮 机間指導を行い、個別に声をかけ一人一人の子供に合った支援を行う。
- (7)学習ルールの明確化 話し合いの進め方、発表のときのルール、ノートの書き方等を明確にする。
- (8)見える化 聞くことが得意な子供もいれば、見るのが得意な子供もいるのでノートを活用する。
- (9)立場を添え挙手(話し方のスタイルを子の機会に学ばせないと、卒業まで単語しか話せない子となる)
- (9)共助的な仲間関係

学習問題を解けない子をいかに減らすかが重要だ。教師が見通しを立てさせたつもりでも、実際は子供は理解できていない。そんな授業が少なくない。子供が、見通しをもてていないと感じた時は、仲間の力を借りさせるようにする。高知県内の生徒のアンケートが参考になる。「これから先、分からないことがある時は、仲間のノートを見たい」「先生から教わるのではなく、もっと班で話し合いたい」「分からない所を仲間に聞きに行け、いつもより分かりやすかった」「50分椅子に座っているだけではないので、仲間と交流ができた」。

(10)授業進行係

学習指導要領総則に、「指導にあつては、自主的・自発的な学習が促されるように工夫すること」とある。授業力とは、案外、教師より子供が身に付ける力ではないだろうか。その方策として、高知県を始め全国の学校に「授業進行係り」の導入を勧めてきた。これまでの「教科係り」は、担当の教師から持ち物や宿題等を聞き、教室でそのことを伝える役割しかなかった。そこで、これまでの「教科係り」を「授業進行係り」として各学級に位置付けた。教師の独壇場の授業を止める一つの方策としても導入したかった。最初は、「授業進行係り」に多くは望まなくてよい、子供は、「授業進行係り」に慣れるにしたがい自分たちで授業運営を一層行いたいという思いが強くなる。その時、「授業進行係り」に多くの授業運営を任せるようにするとよい。